

競技・審判上の注意

① 試合会場の割り当て

＜第一会場＞真岡市総合体育館・・・男女 A・B・D クラス

＜第二会場＞武道体育館（2F）・・・男女 C クラス、各クラス交流戦

※初戦で敗退して、交流戦を希望する場合は、第二会場で「交流戦の受付」をして下さい。

② マッチ及びインターバル（試合の進行状況によっては、変更する場合があります。）

■本戦

15 点 3 ゲームマッチとします。延長なし 15 点打ち切りです。ファイナルゲームは、8 点でチェンジインズです。

i) 各ゲーム、どちらか一方が 8 点に達したら、60 秒を超えないインターバルを取ることができます。

ii) ゲームとゲームの間は 1 分間のインターバルを設けます。

iii) サイドコーチのアドバイスは、ゲームとゲームの間のインターバル、もしくは水分補給のときのみ認めます。

準々決勝より正式ポイント（21 点 3 ゲームマッチ、延長 30 点まで）で行います。ただし、D クラスについては、15 点 3 ゲームマッチ（延長 21 点まで）とします。

■交流戦

全クラス、15 点 3 ゲームマッチとします。延長なし 15 点打ち切りです。

③ 交流戦

交流戦は、1 回目の試合で負けた選手すべてを対象として実施します。例えば、初戦が不戦勝で、2 試合目で負けた場合も対象となります。希望者は、第二会場の本部（または 1F 出入口付近）で受付をして、お待ち下さい。試合を始めるときは、放送やオープンチャットでお呼び出します。ので、会場を離れて待機して頂いても結構です。

第二会場で行われる C クラスの試合の進行状況を見ながら、交流戦を入れていきます。開始は午後になる予定です。

④ 審判

■本戦

主審は、大会本部が担当します。線審は、次にそのコートで試合をする選手（又は父兄、チーム関係者）が行って下さい。得点板は、敗者が残って、次の試合を担当して下さい。

※選手が 3 年生以下の場合は、大人か高学年の選手が代わりに線審をお願いいたします。

■交流戦

相互審判とします。対戦チームから 1 名ずつ出て、主審（線審を兼ねる）と線審（得点板を兼ねる）をコートの対角に配置して試合を行って下さい。

⑤ 進行

タイムテーブルのコート番号にとらわれず、流し込み方式で行いますので試合のコールにご注意下さい。

第一、第二会場それぞれの本部席付近に「選手集合場所」を設けます。コールされたら、そちらにお集まり下さい。試合の順番がきたら、審判用紙を選手に渡しますので、対戦相手と共に指定されたコートまで移動して下さい。まず、線審をやり、その試合が終わったら、審判用紙を主審に渡して、試合を始めてください。

初戦に限り、試合前に 2 分間の練習時間を設けます。主審の指示に従い、対戦者同士で練習をして下さい。練習のシャトルについては、選手が用意して下さい。

感染予防対策として、試合開始時と終了時の握手、および勝者サインは省略します（主審が代筆）。試合終了後、勝者は、主審と勝敗の確認を行い、その後、審判用紙を受け取って、本部まで持って来て下さい。敗者は、次の試合の得点板をお願いします。

※「選手集合場所」には、なるべく選手のみでお越し下さい。選手の代わりに線審をする方は、選手がコートに移動したのを見はからって、直接コートに来て下さい。

⑥ 表彰

各クラスの準決勝及び決勝終了後に随時行います。閉会式は行いません。優勝・準優勝・3位までは賞状と賞品、メダルを授与します。(3位決定戦は行いません。)

⑦ その他

コーチ席は、各エンドラインに1席ずつ設けます。

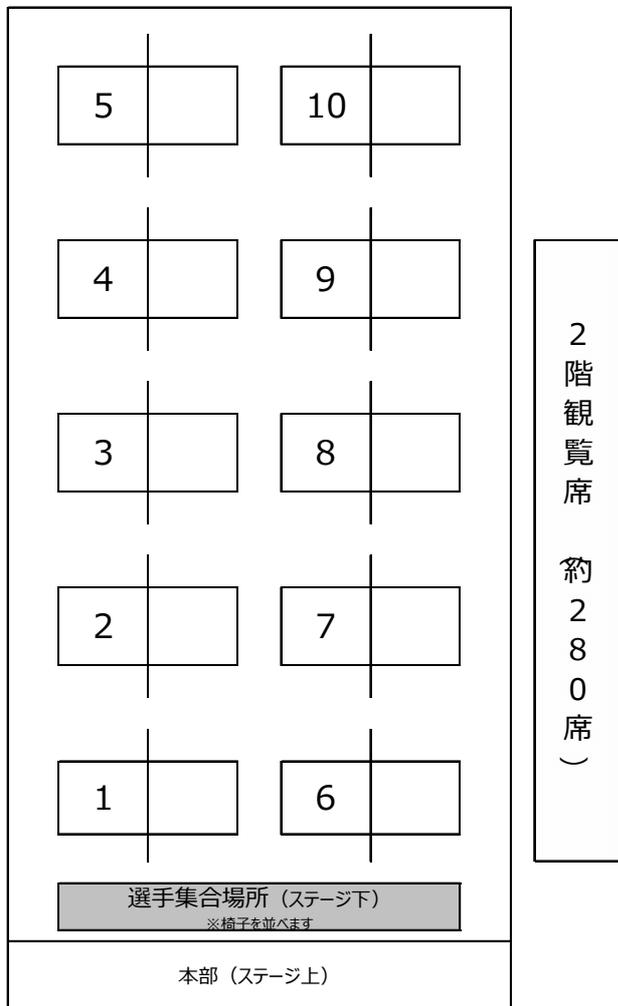
感染予防対策のため、タオルや飲み物ボトルを床に直接置かないようにして下さい。コートサイドに各自バッグなどを持参して、それに入れて下さい。

マロニエオープンにおけるケガなどを保障する団体傷害保険に加入しております。大会中にケガをした場合は、お申し出下さい。

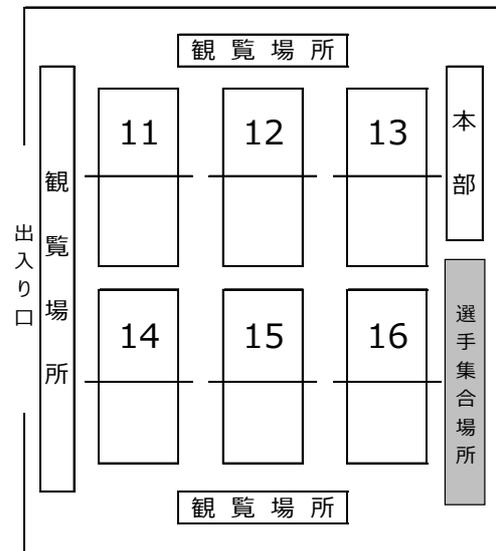
⑧ 会場図

感染予防対策として、第一会場については、都県ごとに観覧スペースを割り当てます。割り当てについては、別途お知らせいたします。

【真岡市総合体育館（第一会場）】



【武道体育館（第二会場）】



以上